

ヒト由来グルコキナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1696

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルコキナーゼ (GK; EC 2.7.1.2) は、グルコースをグルコース-6-リン酸にリン酸化するのを助ける酵素です。グルコキナーゼは、ヒトやほとんどの他の脊椎動物の肝臓、膵臓、腸、脳の細胞に存在します。これらの各臓器において、グルコキナーゼはグルコースセンサーとして機能し、食事後や断食時に見られるようなグルコースの上昇または下降に応じて代謝や細胞機能の調節を引き起こすことによって、炭水化物代謝の調節に重要な役割を果たします。この酵素の遺伝子の変異は、異常な形の糖尿病や低血糖を引き起こす可能性があります。

別名 EC 2.7.1.2; グルコキナーゼ; グルコキナーゼ (リン酸化); 9001-36-9; GCK; FGQTL3; GK; GLK; HHF3; HK4; HKIV; HXKP; LGLK; MODY2

製品情報

種	人間の肝臓
由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 2.7.1.2
CAS登録番号	9001-36-9
分子量	53.2 kDa
純度	77% (密度測定)
活性	662 pmol/min/ug
濃度	1.0mg/mL
緩衝液	50 mM リン酸カリウム pH-7.4、50 mM 塩化ナトリウム、0.5 mM エチレンジアミン四酢酸、及び 2.5% グリセロール。
単位定義	1単位は、30°Cで1 nmolのNADPをNADPHに変換する酵素の量として定義されます。 アッセイ条件: 25 mM HEPES、pH 7.5、2 mM MgCl ₂ 、1.0 mM DTT、0.5 mM NADP、2 mM ATP、25 mM グルコース、100 µg/ml BSA、20 units/ml グルコース 6-リン酸脱水素酵素、30°Cで30分間の10 mM ヒト肝グルコキナーゼ。

保管・発送情報

保存方法 -80 °Cで